



安曇野インボウ通信

第9号

発行責任者：増田望三郎

発行月：2016年1月

みなさん、こんにちは。安曇野市議会議員の増田望三郎です。私の議員活動を報告する『安曇野インボウ通信』を毎回の定例会後に年4回発行します。市民のみなさんと市政の間に虹(= Rainbow レインボウ)を架け、希望(希望の“望”は望三郎の“望”)あふれる市政にしていきます。市議ブログもどうぞ <http://bouzaburo.blog.fc2.com>

●巻頭言 議会改革の遠い道のり

安曇野市政と市民を近づける架け橋になりたい。そう思い議員になり2年が過ぎました。ここで改めてお聴きします。市民のみなさんにとって議会や議員はどんな存在ですか？ 早稲田大学マニフェスト研究所の調査では、地方議員の3大イメージに以下を挙げています。

①何をしているか不明 ②いなくても同じ ③支援団体の利益代表 です。

耳が痛いですが、議員が議員としての責務を、またその総体である議会が議会としての機能を果たしているかと問えば、それはまだ不十分だと思います。安曇野市議会が定めた議会基本条例では「議会は市政に関する重要な政策及び課題に対して共通認識を図り、合意形成を得るため、政策討論会議を開催することができる。」とあります。私の記憶では、この2年間で「特定秘密保護法」、「松枯れ病対策」などいくつかのテーマを議論しただけです。事業費の大きなもの、市政の根幹に関わるものについて、議会として合意形成を行うため、政策討論会議をもっとやるべきだと思います。

例えば、今回の定例会では総合体育館建設の基本計画を作るための費用1400万円を含んだ補正予算案が可決されました。体育館建設計画は「公式スポーツ施設整備計画」をもとにしていますが、この計画内容を議会内で討論することなく予算案を通してしまいました。「基本計画が出てこない」と議論のしようがない。」という議員もいましたが、では何を根拠に今回の予算を通したのでしょうか？市民のみなさんにきちんと説明できるでしょうか？

また同条例には市民と議会の関係が謳われており、「議会は、市民の多様な意見等を把握する場として、市民との意見交換の場を設けるものとし、市民から意見交換会開催の要望があったときは、こ

れに応じるよう努めるものとする。」とあります。しかしこれも2年間の中で実現した意見交換会は無かったと記憶しています。市民のみなさん、市政に疑問や要望がある場合は、議会へ意見交換会を提案してください。我々議会は条例に基づき、これに応じる義務があります。



市民と議会が楽しく意見交換

議会改革の進捗は、議会がどれだけ市民との生のやりとりの機会・場面を創り出しているかということと正比例すると思います。今回の定例会で、あづみのテレビが出していた陳情（委員会をテレビで生中継する旨）が審議未了となり流れてしまいましたが、（右の5コママンガ参照）開かれた議会と逆行していると思われるかもしれませんが、議会改革を進めるための議会基本条例が宝の持ち腐れにならないよう、積極的に議員間討論、市民との意見交換会を実現するように働きかけていきたいと思っています。

●政治塾をスタートします！

地方議員を目指す方を対象にした政治塾を始めます。熱い思いと志をもって政治に挑戦しようと思っている方たち（特に若手世代）に、①地方政治・地方自治のイロハを学んでもらうこと。②同じ志を持つチャレンジャーのネットワークを作ること。③そしてその入口である選挙で当選すること。この3つを目標にして、定期的な集まりを始めていきます。我こそはという方は連絡をください。携帯 080-5486-6111（望三郎市議）



●増田望三郎のプロフィール

大分県出身、酒の弱い九州男児。気さくな46歳。東京を経由し、安曇野に移住し12年目。三郷小倉の地に妻と2人の子ども、妻の両親の3世代で暮らす。米や野菜などの自給の農業をしながら、出会いと体験の宿『安曇野地球宿（ちきゅうやど）』を経営。2013年10月より安曇野市議。好きな言葉『出会い、共感、展開』

望三郎市議が行く!! 第8話

市民に開かれた議会の道のりは続く

出演：望市議 ヒデパパ ミュ



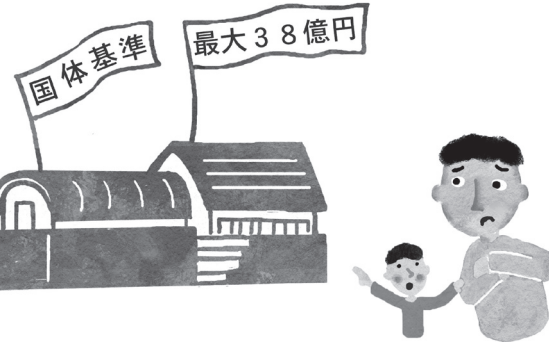
ところが……



●12月定例会の一般質問

年4回行われる議会定例会では、議員自身がテーマを定めて市政を質したり、政策提案を行う「一般質問」ができます。公の場で行政と直接議論できる一般質問は議員としての権利であり、また責務でもあります。12月定例会では以下の二つのテーマを取り上げました。

《質問1》
市民の納得がいく体育館建設を



望市議 総合体育館の整備方針が、当初の市民のための生涯スポーツという観点から、競技スポーツを含めた公式スポーツのための施設へと大きく変わってしまっていないか。過大な国体基準という方針はどこで決まったのか。

市長 体育館のグレードアップを実感し、競技スポーツの拠点施設となり得る規模の整備を考えている。市民のスポーツへの関心も高められ、重複した施設の整備も避けることができ、利用にも幅が生まれる。

教育部長 「スポーツ振興計画」の中で、公共スポーツ施設の整備・充実を掲げ、大規模大会等を想定した拠点施設を謳っている。

望市議 国体基準はたたき台か、それとも決定事項か。

教育部長 これが現時点の計画である。

望市議 建設費用と維持費用の試算は。

教育部長 具体的検討はこれから行う。

望市議 肝心の市民の民意はどう反映されていくのか。民意を汲むアンケートは実施するか。

市長 アンケート結果が、本当の意味で民意をどこまで反映させているのか。アンケートの実施は現在考えていない。

【解説】

豊科の南部運動公園に予定される総合体育館建設計画。建設費用は28億円から38億円とまで言われています。老朽化した南部社会体育館に代わる施設として、建設そのものには反対ではありません

んが、国体基準の施設は本当に必要でしょうか？ また、この方針はどこでどのように決定されたのでしょうか？

今回の議会で体育館の基本計画を作る外部コンサルタントへの委託料1400万円を認めることはできず、その部分を削除した修正案を荻原議員・小林議員と提出しましたが、否決されてしまいました。これで予算付けされ、いよいよ体育館の建設計画がスタートします。過大なハード事業により、将来世代への財政負担が過度にならないように、引き続き議会でも議論をしていきます。市民のみなさんも、この事業を注目し、声を挙げてください。

..... 望三郎市議の考え

縮小の時代にはそれぞれの市が全ての機能を担うのではなく、協働連携して役割を分担していくことが必要です。中心市と近隣市町村の連携を図る定住自立圏構想です。人も金も資源も限界があります。我が市で何でも持つ所有より、連携して共有することを考えていきましよう。助け合いの関係が多いほど暮らしが豊かになっていく、これはコミュニティが今も存続する安曇野市民なら実感するところです。30年先、50年先も安曇野市として存続していくためにも、今後はそれを自治体間で行い、豊かな自立したコミュニティをこの中信地域につくっていくべきです。

《質問2》安曇野の豊かな水環境を次世代に残そう

望市議 北小倉の廃棄物処理施設は一地域の問題ではなく、安曇野の水環境を脅かす可能性がある。業者の下水道使用量の実績が極端に少ない、または使用量がゼロの時があるが、汚水排水はどこに消えたのか。地下浸透の可能性はないのか。

上下水道部長 利用者が事業環境の中でどのように水を利用しているかを把握する立場にない。個々の下水道使用量の状況と変動理由は承知していない。

市民生活部長 地下浸透はしていない。

【解説】

この施設は廃棄物処理施設です。住民の一般住宅ではありません。除害処理が必要な排水であり、有毒性のある汚水です。敷地内の雨水が大量に蒸発することは考えにくいわけですが。では排水はどこに消えてしまったのでしょうか。

●サポーターからの
応援メッセージその8



大浜悦子さん
(三郷、農場勤務)

望さんが営むゲストハウス「安曇野地球宿」はいつでも誰でも入ることができます。ガラッと玄関を開けると、そこは地球宿の居間。宿のゲストがご飯を食べている事もあります。そんな時も望さんは嫌な顔せず迎え入れてくれます。ゲストさんも私たち地元民も、違和感なく一緒に空間にいられるのです。初めて会った人たちの壁をすぐに取り除いてしまうのは、望さんの中に壁がないからで、それが私たちにも伝染してしまうのでしょうか。

望さんが市議になり、それまで縁遠かった市政というものが身近なものになりました。まだ壁がないわけではありませんが、それは薄く、あるいは低くなったように感じています。そして壁の向こうで行われていたその世界を、中に望さんがいるからちょっと扉を開けて覗いてみようかなって気になりました。地球宿の玄関を気兼ねなくガラッと開けるように、こちらから壁を作らずにどんどん覗いていこう。そこから始めて、望さんを市議に選んだ私自身も、一緒に市政に参加をしていきたいと思います。

●お知らせ①

民心・無所属の会の活動報告会を開催

民心・無所属の会（荻原勝昭議員、林孝彦議員、小林純子議員、増田望三郎）の議員活動報告会を行います。小林議員も加わり4人になった当会派は、常に市民に寄り添う存在でありたいと思っています。議会の様子、現在の市政課題をお伝えします。またみなさんからの要望やご意見も聴かせてください。

日時：1月17日（木）午後1時半～
場所：穂高会館（安曇野市穂高5047）

●お知らせ②

増田望三郎後援会の総会を開催

私の後援会の総会が開かれます。後援会員が主体となる後援会活動と望三郎自身が主体となる議員活動はそれぞれ別個のものですが、後援会総会でも私の議員活動を報告いたします。

日時：1月30日（日）夜7時～
場所：三郷小倉の多目的研修センター
(安曇野市三郷小倉3484番地1)